

業績ハイライト

営業の概況<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

(単位:億円)

	20年度		19年度
		前年比	
経常収益	2,396	△216	2,612
経常利益	213	△449	663
当期純利益	370	△16	386
自己資本比率	10.81%	+0.42%	10.39%

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前年度比216億円減少し2,396億円、連結経常利益は前年度比449億円減少し213億円、連結当期純利益は前年度比16億円減少の370億円となりました。

連結自己資本比率は前年度末比0.42%上昇し10.81%となりました。

営業の概況<北陸銀行+分割子会社・北海道銀行>

(単位:億円)

	2行合算+分割子会社		
	20年度		19年度
		前年比	
経常収益	2,188	△188	2,376
コア業務粗利益	1,686	△103	1,789
経費(臨時処理分を除く)	915	+16	899
コア業務純益	770	△119	889
与信費用	339	+91	247
有価証券等関係損益	△177	△170	△6
経常利益	231	△431	662
当期純利益	397	△4	402

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、投信販売の低迷や外国為替取引の手控えから減収になる一方、新システム構築に向けた経費増加もあり、前年度比119億円減少の770億円となりました。

また、金融市場の混乱、实体经济の急速な悪化を受け、与信費用、有価証券関係損も増加したことから、経常利益は431億円減少の231億円となりました。当期純利益は、法人税等調整額の減少もあり、397億円となりました。

(単位:億円)

	北陸銀行+分割子会社		
	20年度		19年度
		前年比	
経常収益	1,245	△170	1,415
コア業務粗利益	950	△106	1,056
経費(臨時処理分を除く)	513	+2	511
コア業務純益	436	△108	545
与信費用	198	+2	196
経常利益	106	△261	367
当期純利益	282	+58	223
自己資本比率	10.23%	+0.13%	10.10%

(単位:億円)

	北海道銀行		
	20年度		19年度
		前年比	
経常収益	943	△17	960
コア業務粗利益	735	+3	732
経費(臨時処理分を除く)	402	+13	388
コア業務純益	333	△10	344
与信費用	140	+89	51
経常利益	125	△169	294
当期純利益	114	△63	178
自己資本比率	10.45%	+0.32%	10.13%

コア業務粗利益<2行合算+分割子会社>



コア業務粗利益は、資金利益や役務取引等利益の減少により、前期比103億円減少の1,686億円となりました。

- コア業務粗利益=資金利益+役務取引等利益+その他
一般の企業で言う「売上総利益」に相当する概念で、銀行の本業におけるおおもとの利益、銀行が創造する価値の源泉です。
- 資金利益…貸出金、預金、有価証券等の利息収支等。
- 役務取引等…為替手数料、投資信託、保険の取扱手数料等。
- その他…外国為替売買益やデリバティブ収益等。
- 非金利収入比率…コア業務粗利益のうち、資金利益以外が占める割合。

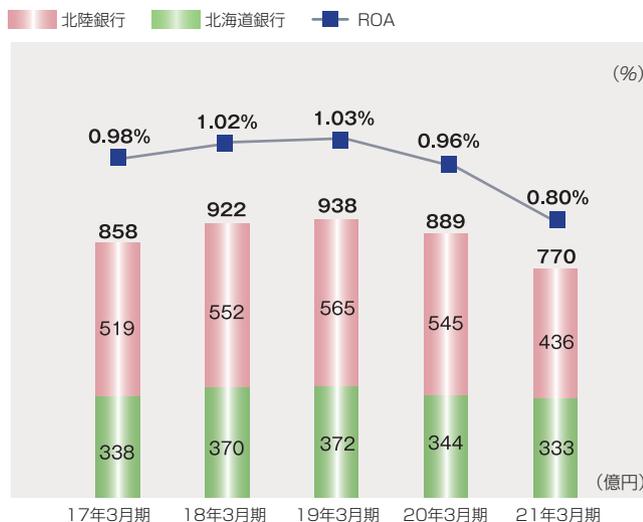
経費<2行合算+分割子会社>



経費は、営業力強化のための人員増加や新システム稼働に向けた投資増加により、前期比16億円増加し、915億円となりました。OHRは地銀トップクラスの水準を維持しております。

- 経費=人件費+物件費+税金
一般の企業で言う「販売費及び一般管理費」に相当します。
- OHR=経費÷コア業務粗利益
少ない経費でいかに多くの利益をあげているかを示す指標で、数値が低いほど効率的です。

コア業務純益<2行合算+分割子会社>



コア業務純益は、コア業務粗利益の減少、経費の増加により、前期比119億円減少の770億円となりました。

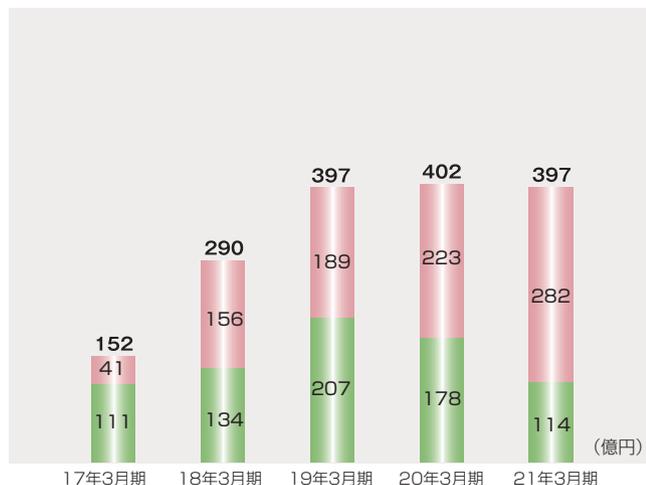
ROAは地銀トップクラスの水準を維持しております。

- コア業務純益=コア業務粗利益-経費
一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果を示したもので、銀行特有の指標です。
- ROA=コア業務純益÷総資産(期中平均)
資産をいかに有効に活用して利益を上げているかを示す指標で、数値が高いほど効率的です。

業績ハイライト

当期純利益 <2行合算+分割子会社>

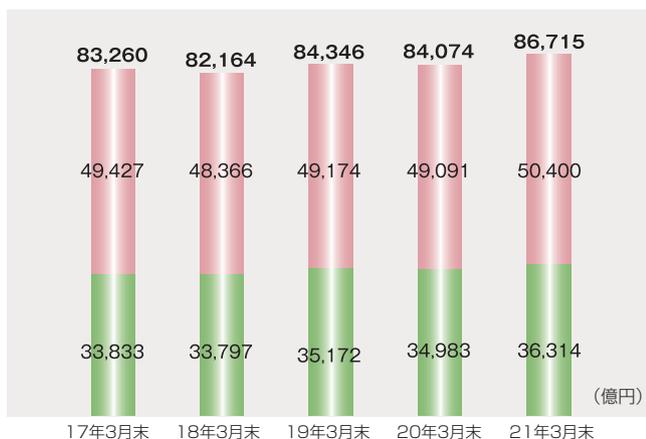
■ 北陸銀行 ■ 北海道銀行



当期純利益は、子会社清算決定に伴う法人税等調整額の減少もあり、前年並みの397億円となりました。

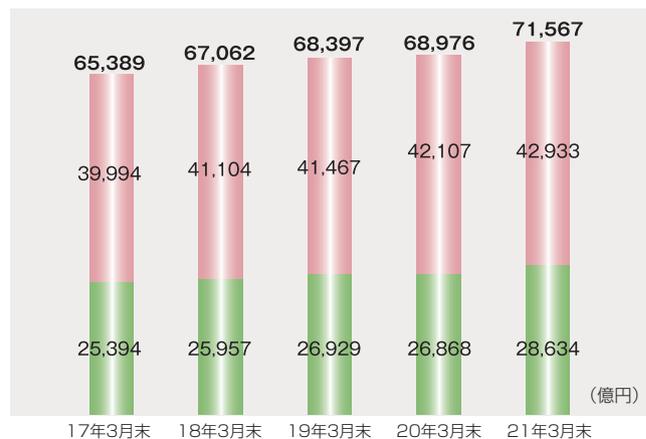
預金 <2行合算>

■ 北陸銀行 ■ 北海道銀行



貸出金 <2行合算+分割子会社>

■ 北陸銀行 ■ 北海道銀行



※北陸銀行では、従来、RMBS(住宅ローン信託受益権等)を「貸出金」に含めておりましたが、17年度から「買入金銭債権」に含めており、過年度との比較のため、RMBSを控除した計数を記載しております。

自己資本比率 <北陸銀行(単体)>

■ 自己資本比率 ■ Tier1比率



自己資本比率 <北海道銀行(単体)>

■ 自己資本比率 ■ Tier1比率

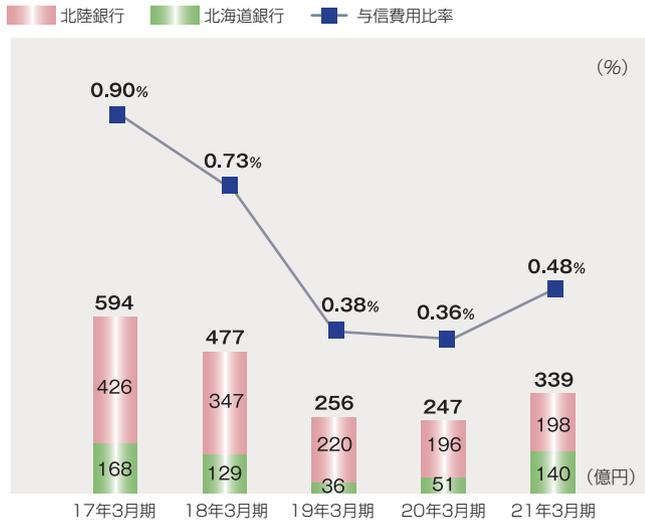


■自己資本比率
自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。

■Tier1比率
リスク・アセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(パーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

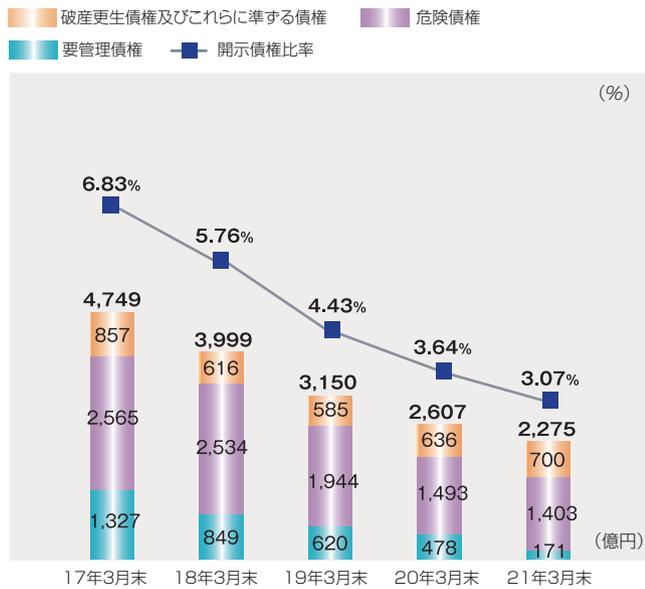
与信費用 <2行合算+分割子会社>



与信費用は、景気の急速な悪化に伴い、倒産件数が増えたことから前期比91億円増加し339億円となりました。

- 与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額
 - 与信費用比率＝与信費用÷貸出金平残
- 与信費用と貸出残高とを対比した指標で、不良債権処理の費用割合の多寡を示しています。

金融再生法開示債権 <2行合算+分割子会社>



金融再生法開示債権は、前期末比332億円減少し、2,275億円となりました。開示債権比率は、前期末比0.57%低下し、3.07%となりました。

- 金融再生法開示債権・・・金融再生法（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律）に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しています。
- 開示対象債権・・・貸出金及び支払承諾見返、外国為替、未収利息、仮払金、貸付有価証券、自行保証付私募債。但し、要管理債権は貸出金、自行保証付私募債のみ。
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産、会社更生等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。
- 危険債権・・・お取引先が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本及び利息の受取ができない可能性の高い債権のことです。
- 要管理債権・・・3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権（「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」を除く）のことです。
- 開示債権比率・・・総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

不良債権への備え

